

令和3年

町の将来をしっかりと見据えて



芝山町長
相川 勝重

新年明けましておめでとうござい
ます。令和3年の新春を健やか
にお過ごしのこととお慶び申し上
げます。昨年は大変お世話にな
り、誠にありがとうございます
です。今年もよろしく願いたし
ます。

さて、昨年は年間を通して新型
コロナウイルスに悩まされた年と
なり、瞬く間に全世界へと拡散し
たウイルスの恐ろしさを改めて痛
感いたしました。感染された方々

には、心からのお見舞いを申し上
げますとともに、皆さまが一刻も
早く元の生活に戻るよう、今後
も継続して対策に取り組みでまい
りたいと存じます。

そのような中、先日開催された
全国町村長大会において報告され
た「コロナ禍・コロナ後社会を見
据えた町村から日本再生に関する
提言」には、東京一極集中の弊害
やリスクを顕在化させ、分散型国
土の形成と地方活性化への要請が

一段と高まっているコロナ禍にお
いて、これまで高まりつつあった
若者や都市住民の田園回帰などの
潮流に加え、テレワークやリモ
トワークなどの働き方改革や新し
い生活様式の先には、地方への移
住・定住、田園回帰の本格化と
いった新たな価値観が定着してい
くことが期待されていると記され
ていました。

このことから、農山漁村を抱
え、多様な地域の価値を有する私
たち町村の将来にわたる持続可能
性の追求が、大都市地域のバック
アップ機能の強化につながり、コ
ロナ禍・コロナ後社会を見据えた
これからの国づくり大きく貢献
するものだと考えられます。

本町が将来にわたって、持続可
能な都市として成長・発展してい
くためには、現在進められている
成田国際空港の機能強化や圏央道
の整備によるまちづくりへの波及
効果を適切に受け止め、それに伴
う変化を積極的に活用していくこ
とが必要だと認識いたしております。

また、安心・安全なまちづくり
の実現も重要な課題の一つです。
昨年本町では、これまで多くの団
体・企業の皆さまと結ばせていた
だっている災害協定のほか、かね

てより交流のあった福島県小野町
と自治体として初めて「災害時に
おける相互応援に関する協定」を
結ばせていただきました。これら
の協定は、風水害をはじめとした
大規模災害の際、本町にとって心
強い支えとなることと期待いたし
ております。

町民の皆さまが自信と誇りを
もって快適に活動できるまちづく
りの実現に向けて、将来をしま
りで見据えながら町政運営に取り
組んでまいりたいと存じますの
で、今後とも皆さまのご理解とご
協力をお願い申し上げます。

結びに、令和3年が皆さまに
とって素晴らしい年となりますよ
うご祈念申し上げます、新年のご挨拶
とさせていただきます。



